

# 情報公開文書

## ◆ 人工肛門造設と閉鎖に関する研究

### 1. 研究の対象となる方

2000年1月1日～2021年5月31日までに当センターで人工肛門造設手術および人工肛門閉鎖手術を受けた患者さん

### 2. 研究目的・研究の方法

人工肛門造設手術は、がんによる狭窄などに対して行う場合や、自然肛門が残せないために永久人工肛門になる場合、さらには縫合不全の予防やその治療として作成される場合など造設理由も多岐にわたり、双孔式や単孔式さらに大腸で作成されるか、小腸で作成されるかなど、病態によって多くの作成法があります。また、作成された人工肛門を閉鎖する場合も多いです。

一方で人工肛門作成と閉鎖おける周術期合併症は20%以上の頻度で起こり、退院後の人工肛門関連トラブルも多いことが知られています。

本研究は、当センターにおける人工肛門作成および閉鎖の周術期および長期合併症の頻度とその治療実態を把握するために、人工肛門作成および閉鎖の周術期合併症や晩期合併症を分析する。さらに合併症と人工肛門作成法や閉鎖法との関係について、基礎疾患、抗癌剤使用の有無、画像所見、SSI、BMI などについて分析し、よりよい人工肛門作成法および閉鎖法の開発を行っていきます。

研究結果は学会や論文での発表を予定しています。

### 3. 研究に用いる情報の種類

情報；病歴、人工肛門作成および閉鎖の術式、部位、周術期合併症や晩期合併症、基礎疾患、抗癌剤使用の有無、画像所見、SSI、BMI、生活の質（パウチのトラブル）など個人を特定しうる情報は明示しません。

### 4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 滝口伸浩 他

### 5. 研究責任者

千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 滝口伸浩

### 6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、研究費を使用した研究ではありません。

研究に関する利益相反は、当センターの利益相反委員会にて適切に管理されています。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は当センターの倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究への参加を希望しない時はご連絡ください。

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 食道胃腸外科 臨床検査部長 滝口 伸浩  
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2  
TEL 043-264-5431 (代表番号)